

〔研究ノート〕

「気質変化」の意味と方法について

李 致億

はじめに

本研究は性理学における「気質変化」の意味を現代的な感覚で再解釈するための基礎を構築することに目的がある。そのためにまず、「気質」が何を指しているのかを分析した後、「気質変化」の意味と方法を探ることにする。しかし、性理学において気質の問題は、理気や性情といったテーマに比べ、理論的にはあまり扱われていないようである。性理学者は気質について理気論や性情論のように詳細な哲学的分析の必要性を感じなかったのだろう。それはおそらく、彼らにとって、気質の意味や正体を突き止めることよりも、気質の制約を克服し、それを変化させる方法を模索することがもっと切実だったからと思われる。したがって、「気質変化」は理気論や心性論のように哲学理論として整っていない。これが現代の観点から気質変化というテーマの理解が難しい一つの原因として作用している。